



第1日目

7月25日 木 記念講演会 講演 ■ 午後2時30分～4時20分

演題: 「予測可能な未来」が教えてくれること

会場: ライフプラザ マリオ

長野県岡谷市長地権現町3-2-45
☎0266-28-8740

創立30周年、改組20周年記念誌に寄稿いただいた田中先生の講演です。

その間経済を取り巻く環境は政権の交代など大きく変化しています。まさしく世界に例を見ない日本のデフレ対策が進められています。この激動する社会の本質を見抜き、自社を良く知り、自社の取るべき指針が経営者に求められています。過去の延長線上に未来は描けないといわれますが、「予測可能な未来」を出来る限り共有し3年後、5年後をめざしたいと思います。企業の経営者はもちろんのこと、5年後、10年後の企業の中核を担う社員の皆さんの参加を歓迎いたします。

講師:

株式会社 **アクアビット**
代表取締役/チーフビジネスプランナー

田中 榮先生

北海道札幌市出身 1966年生まれ。
1990年早稲田大学政治経済学部卒業。
同年株式会社CSK入社、社長室所属。
CSKグループ会長・故・大川功氏のもとで事業計画の策定、業績評価など実践的な経営管理を学ぶ。

1993年草創期のマイクロソフト株式会社に入社。WordおよびOfficeのマーケティング戦略を担当。「一太郎」とワープロ戦争を繰り広げ、No.1ワープロの地位を確立。
1998年ビジネスプランナーとして日本法人の事業戦略立案を統括。2002年12月同社を退社後、2003年2月株式会社アクアビットを設立し、代表取締役に就任。

◆主な著書 『未来予測レポート2013-2025〈自動車編〉〈エネルギー編〉〈エレクトロニクス編〉〈ネット・サービス編〉』『未来予測レポート 2012-2025〈食料・農業編〉〈医療・健康編〉』『未来予測レポート2011-2025〈全産業編〉』(日経BPコンサルティング)など。



記念パーティ「ヒューマンハーバー」 ■ 午後4時30分～6時30分

おなじみの異業種交流会です。講師の田中先生を交え具体的な意見交換の場です。信州の高原野菜や新鮮な山菜料理、馬肉、鹿肉などのジビエ料理とお馴染みの信州蕎麦でおもてなし。もちろん地酒とワインで乾杯!



車山高原に泊ろう! 壮大な星空ウォッチング



マイクロバスで車山高原に移動 「ころぼっくるひゅって」宿泊

創業57年の霧ヶ峰高原の草分け的山小屋。オープンテラスでのモーニングカフェや高原牛乳の味は格別。百名山「車山」に抱かれて天の川が手に届きそうです。

■ころぼっくるひゅって ☎0266-58-0573



7月25日^木→26日^金

ハイコープ信州サミット
27日^土 霧ヶ峰グライダー試乗

第2日目

7月26日^金 霧ヶ峰トレッキングと太陽蓄熱発電見学

第1部

午前8時30分 出発

大地との語らい—— 霧ヶ峰フラワートレイル



なだらかな稜線を描く霧ヶ峰・車山高原。厳しい冬を乗り越えた花達は一斉に短い夏を謳歌します。その中でも7月の中旬に黄金の絨毯を曳き敷きつめたように咲くニッコウキスゲは高原の主役。伸びやかに広がる高原風景と迫力の山岳パノラマを眺めながらゆっくりと歩くコースです。心身ともにリフレッシュを!

神々との語らい—— 八島ヶ原湿原と旧御射山遺跡

一年に1ミリ堆積する泥炭層。8mを超えるといわれています。まさに12000年の悠久の時を刻んできた湿原です。その中核的位置に諏訪神社の奥社、旧御射山神社が祀られています。鎌倉時代豊作を祈る祭礼には鹿を狩ったり流鏝馬を競った競技場跡が現在でも残っています。



昼食は「おにぎり」+「モロコシ」+冷えた「スイカ」+地ビール 青空のもとで!



雨天の場合 365日のうち200日が雨か霧という霧ヶ峰です

霧ヶ峰ビジターセンター→尖石縄文考古博物館→尖石縄文の湯 昼食

第2部

午後2時~4時解散

三鷹光器「町工場の巨人」が描く日本の未来 ビームダウン式太陽熱集光装置見学会



1966年に天体望遠鏡メーカーとしてスタート。ロケットやバルーンに搭載する観測機器の製造でオゾンホールやブラックホールの発見に大きく貢献。1981年に三鷹光器の特殊カメラがスペースシャトル・コロンビアに搭載されている。2010年に廃校になった中学校でNEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)の助成を受けて進めている太陽蓄熱発電の実験プラントを見学します。

7月27日^土 スペシャルプラン「霧ヶ峰グライダー試乗」



霧ヶ峰は日本のグライダー発祥の地(昭和7年11月)

上昇気流に乗って富士山・アルプスの大パノラマを堪能。

諏訪市グライダー協会のスタッフの協力が必要ですので参加者は限定となります。